

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Tremelimumab + Durvalumab + GEM + CBDCA療法

3週毎 4コース予定

非小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1	day8
イジユド(トレメリマブ)	75 mg/body	↓	
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓	
ゲムシタビン	1000 or 1250 mg/m ²	↓	↓
カルボプラチン	AUC 5or6	↓	

- 【注意】 *他剤併用時はトレメリマブ、デュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること
 *トレメリマブ、デュルバルマブはインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用して投与すること
 *体重30 kg以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は20 mg/kgとすること
 *4コース終了後、維持療法(A期)へ移行すること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day1 抗がん剤投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg)1Capを内服

- ① 生食 500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イジユド 75 mg + 生食 100 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)
 ☆初回は60分間観察、2回目以降は省略可能
 ◎メインの生食でフラッシュ
- ③ イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注60分(100 mL/時間)
 ☆初回は60分間観察、2回目以降は30分に短縮可能
 ◎メインの生食でフラッシュ
- ④ パロノセトロン注0.75 mg + デキサメタゾン注4.95 mg(1.5 mL) + 生食20 mL 側管静注
 ◎メインの生食でフラッシュ
- ⑤ ゲムシタビン + 生食 100mL 点滴静注30分(200mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

- ⑥ カルボプラチン + 5%ブドウ糖液250 mL 点滴静注60分(280 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day2,3 アプレピタントカプセル(80 mg)1Cap 1×朝 内服

day2-4 必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 内服

day8

- ① 生食500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン注6.6 mg(2 mL) + 生食20 mL 側管静注
- ③ ゲムシタビン + 生食 100 mL 点滴静注30分(200 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

	1コース		2コース		3コース		4コース	
	day1	day8	day1	day8	day1	day8	day1	day8
月日	/	/	/	/	/	/	/	/
イジユド 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
イミフィンジ 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
ゲムシタビン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓		↓		↓		↓	
確認								